



3月定例会

- ②税金のつかいみちが決まりました
- ④議案報告
- ⑥審議結果
- ⑦代表質問
- ⑩一般質問
- ⑪委員会審査
- ⑫ようちえん紹介

📷 今月の三豊市民 田中真利子さん

議会報告会開催 (詳しくは19ページ)



頑張った、マラソン大会!

山本幼稚園

体力・心づくりのためのマラソン最終日は、コロナ感染防止を考慮しながらのマラソン大会になりました。「ぼくは、速く走る」「私は、最後まで頑張る」と、自分なりの目標をもって走ることができ、ゴールをした子どもたちは、どの子も満足そうでした。



上高瀬幼稚園

上高瀬幼稚園の近くにある、緑ヶ丘サッカー場へ遠足に行きました。青空の下、広々とした芝生で、3・4・5歳児全員がしっぽ取り鬼をして遊び、伸び伸びと体を動かし心地よさを味わいました。



豊中幼稚園

豊中幼稚園の年長児は、毎年、自然にふれながらの体力づくりのために山登りをしています。令和3年度は琴弾山に登りました。登った後のおにぎりは、とってもおいしかったです!!



下高瀬幼稚園

下高瀬幼稚園では、個性や持ち味を伸ばして子どもたちと関わっています。子どもたちも先生もそして保護者も、笑顔や笑い声の絶えない楽しい幼稚園を目指しています。

ようちえん紹介



今月の三豊市民

田中真利子さん(三野町)

ビーチクリーン団体「Design The Earth」を立ち上げ、市内での海岸清掃イベントを定期的に関催し、生き物たちが住みやすい地球を目指して日々活動しています。清掃をきっかけに、「海ごみの問題について考えてもらえれば」と、イベントの際にはなぜごみが発生するのかも伝えていきます。「三豊市が好き!三豊の海をきれいにしていきたい!」と話す田中さん。2022年の瀬戸国際芸術祭では三豊の海の魅力を発信していきます。(取材:田中)



編集後記

風薫る5月となりました。市内では3回目のワクチン接種も進んでいますがこのコロナ感染症によってもたらされた生活環境の変化を受け止めつつ、新しい生活様式の中で「生き生きとした暮らし」を追求していくためにも、皆さまの要望を多く集め市政に反映していくことが重要です。これからも一人でも多くの方に「議会だより」を読んでもらえるように努力してまいります。(近藤)



QRコードを読み取ると、市議会のホームページがご覧になれます

議会広報委員会
委員長 田中 達也
副委員長 近藤 武
委員 石丸 三
委員 川井 研
委員 本口 勢
委員 新 洋
委員 史 介



この広報紙は、古紙配合率70%再生紙、また、環境に優しい植物油インクを使用しています。



発行・編集
三豊市議会・議会広報委員会 〒767-8585 香川県三豊市高瀬町下勝間2373番地1
TEL.0875-73-3009 FAX.0875-73-3024 E-mail gikai@city.mitoyo.lg.jp

定住促進事業



【事業費】1億3,835万4千円
最重要課題として位置付ける人口減少問題の解決に向け、本市への移住・定住施策を行う。

宝山湖公園管理運営事業



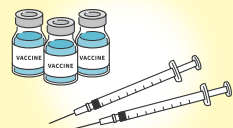
【事業費】7,949万2千円
宝山湖公園芝生広場の改修工事等を行う。

マリンウェーブ管理運営事業



【事業費】6,235万3千円
マーガレットホール特定天井他大規模改修工事の実施設計等を行う。

新型コロナワクチン接種事業



【事業費】1億9,438万4千円
新型コロナワクチンの追加(3回目)接種に係る費用。



離島振興事業



【事業費】4,370万3千円
粟島で開催される「瀬戸内国際芸術祭」に係る費用。



給付型奨学金事業



【事業費】5,040万円
修学意欲を持ちながら、家庭の経済的な理由等で進学が困難な者に対して奨学金の給付を行う。

薬用作物産地化推進事業



【事業費】1,049万8千円
地域プロジェクトマネージャー制度を活用し、薬用作物の産地化に向けて取り組む。

有害鳥獣対策事業



【事業費】5,001万2千円
鳥獣対策に取り組む個人や地域に対する支援のほか、実施隊を中心に有害捕獲を実施する。

夜間中学運営事業



【事業費】1,208万円
4月開校予定の高瀬中学校夜間学級の運営に係る費用。



学習ICT整備事業



【事業費】9,516万5千円
学習ICT環境を整え、タブレット等を活用しながら、「個別最適な学び」と「協働的な学び」を充実させる。



市の予算は議会でしっかりチェック！
令和4年度の税金のつかいみちが決まりました



3月定例会では市長から提出された予算案について、予算特別委員会を設置し、市長・市の執行部に質疑を行いました。
今年度は令和4年1月の市長選挙に伴い、義務的経費や施設の維持管理などの経常経費、継続的に実施している事業で当初予算に計上しなければ事業の実施に支障のある経費のみを計上する、骨格予算となっています。
本市は、財政調整基金の取り崩しにより財源不足を補っている状況であり、本当に必要なお金なのか、厳しい目で審査しました。
質疑の内容は18ページに掲載しています。

令和4年度
予算

一般会計	332億7,000万円
特別会計(9会計)	179億1,700万円
企業会計	33億7,412万3千円

原案
可決

令和4年度主要新規事業および重点施策

今年度の主な新規事業・重点施策を紹介します。

幼保連携型認定こども園総務管理事業



【事業費】1億4,388万1千円
財田こども園の増築工事実施設計等を行う。

公有財産管理事業



【事業費】2億1,336万6千円
公共施設の解体工事および旧三野庁舎跡地整備工事等を行う。

消防施設一般経費



【事業費】1億4,374万6千円
三豊市消防団再編計画に基づき、屯所の建て替えや車両の更新等を行う。

令和4年 第1回定例会 定例会の概要

【会期 3月2日～3月28日(27日間)】

議案 第27号 三豊市消防団条例の一部改正について
全国的に消防団員数が減少し、地域防災力の低下が危惧される中、消防団員の確保や処遇改善を図ることを目的に、所要の改正をするため、条例の一部改正を提案されたもの。



▲出初式の様子

議案 第36号

三豊市奨学金貸付条例の一部改正について
三豊市奨学金の貸付対象者の対象区分を広げるため、条例の一部改正を提案されたもの。

議案 第38号

三豊市福祉センター条例等の廃止について
三豊市託児福祉センターおよび三豊市託児勤労会館は、令和4年3月31日をもって市民の利用に供しないこととするため、当該施設に関する条例の廃止を提案されたもの。

議案 Pick Up

今定例会では 次のことが決まりました

- 令和3年度補正予算 10件可決
令和4年度予算 11件可決
条例に関する議案 15件可決
その他の市長提出議案 1件可決

- 人事案件 12件同意
議員提出議案 1件可決
決議案 1件可決
選挙 1件当選
閉会中継続調査申し出 1件可決
議員派遣 1件可決
主な議案をご紹介します。

議員提出議案

可決

特別委員会の設置について
〔公共施設再配置特別委員会〕所管事項 公共施設の統廃合、処分、長寿化についての調査研究
期間 令和4年3月28日から調査終了まで、閉会中も調査することができるとする。

- 委員長 城中 利文
副委員長 市川 洋介
委員 為広 員史
詫間 政司
水本真奈美
丸戸 研二
岩田 秀樹
田中 達也
三谷 正史
西山 彰人

人事案件(敬称略)

同意

監査委員の選任
片桐 正文(山本町辻)

公平委員会委員の選任

田岡 直博(高瀬町新名)

農業委員会委員の任命

- 大西 薫 奈尾 正敏
近藤 省三 宮崎 和代
石井 徳和 香川 政雄
秋山 正伸 大橋 正幸
糸川 正 三宅 幸一

山本町財田大野財産区管理委員

- 大西 英樹 大平 浩三
内田 実 平山 澄雄
内子 勇 田淵 曉
入江 秀行

山本町神田財産区管理委員

- 大西 一平 大西 義春
大西 美輝 田縁 尚
近藤 正彦 大西 一男
細川 博文

人権擁護委員候補者の推薦

- 新井 富夫(高瀬町羽方)
小野 恭平(高瀬町新名)

可決

決議案第1号 ロシアによるウクライナへの軍事侵略に対する決議

2月24日、突如、ロシアがウクライナへ軍事侵略を開始した。ロシアの行動は、明らかにウクライナの主権及び領土の一体性を侵害し、武力の行使を禁ずる国際法の深刻な違反であり、国連憲章の重大な違反である。核兵器の使用を示唆し、原発施設攻撃や民間人に対する無差別攻撃による殺りくは、決して許すことはできない。三豊市議会は、ロシア軍によるウクライナへの攻撃、主権侵害に強く抗議するとともに、ロシア軍の即時、無条件撤退を強く求める。また、日本政府においては、在留邦人の安全確保に努めるとともに、国際社会と連携し、あらゆる外交手段を駆使してロシア軍の即時撤収と平和の実現に全力を尽くすことを強く要請する。

以上、決議する。
令和4年3月10日

三豊市議会

選挙管理委員会委員

- 大平 由美(山本町財田西)
林 秀昭(三野町下高瀬)
渡邊 省一(詫間町詫間)
岡田 賢吾(詫間町大浜)
近藤 凉代(山本町神田)
浅野 明弘(仁尾町仁尾)
藤川 豊明(高瀬町羽方)

選挙管理委員会委員補充員

- 補充員に掲載
續木 淳二(詫間町松崎)
大方 弘文(財田町笠田)
大西 真由美(三野町下高瀬)
森 真由美

令和3年度3月補正予算

可決

Table with 2 columns: Category (General, Special, Enterprise) and Amount. Includes items like National Health Insurance, Elderly Medical Care, and Hospital Services.

補正

議事日程表 (Meeting Schedule) showing dates from 2/24 to 4/15 and corresponding agenda items like budget approval and committee meetings.



令和4年第1回(3月)定例会 審議結果

■全会一致の議案等

Table with columns: 議案名等, 議決結果. Lists various budget and ordinance items with their respective outcomes (e.g., 原案可決, 賛成).

■賛否が分かれた議案

Table with columns: 議員名, 議案名等, 議決結果. Shows the voting record for specific bills, including names of council members and their votes.

※人事案件(敬称略) ※議長は可否同数の場合のみ表決権があります。(議長 19番 浜口 恭行)

代表質問



3月10日・14日に各会派を代表して、8人の議員が代表質問を行いました。質問者順に要旨を掲載します。原稿は質問者本人が書いています。

市長の政策表現に向けての運営方針について

市長は1期目の4年間、新たな視点でまちづくりに向けて多様な政策提言をしてきた。施政方針の所信には、みよSDGs未来都市として取り組むにふさわしいテーマとして、市政に対する願いが述べられていて感じる。ただ、その素晴らしい考えも、市民の実生活につながる施策や事業に具現化されてこそものだ。市長の目指すところとする三豊市に向かって、職員とともにシビックプライドを醸成し、市民サービスに直結するようつくり上げていくことが必要だ。そのため人材、組織、財源、進捗計画の考えを問う。

組織は、部署の境界を超えたチームとして、即座に施策を実行できる必要があるため、タスクフォースを積極的に取り入れていく。財源は、有利な財源を積極的に獲得していく。ふるさと納税による寄付の拡充と、企業版ふるさと納税やクラウドファンディングなどの新たな手法を取り入れるとともに、公有財産の適正管理により、財源確保に取り組む。今後、本市への投資

清風会 logo and photos of council members 近藤 武 and 詫間政司 with QR codes.

健康・ウェルネスについて

子どもが健やかに育ち、生涯笑顔で暮らすまちについて、全世代を対象とした未病の防止、健康な暮らしへの取り組みなど、心身の健康でありその健康を基盤とした豊かな人生、輝く人生が目的の「ウェルネス」への取り組みを聞く。市民の方が「自分の健康は自分で守る」という考えを持つきっかけづくりが重要である。企業と行政、地域、また大学と協働し健康をテーマにした取り組みや企画などを考えている。



▲改修工事が終了した三豊市総合体育館



▲各種施設を活用し、健康増進のためのきっかけづくりが求められる

- 予算編成方針から見る財政見通しについて
○教育の本質へのロードマップについて
○持続できる教育政策について
○農業振興について
○情報伝達について
○地域産業振興・Mitopay(ミトペイ)について

※タスクフォース...通常の組織内で行う仕事とは別に、緊急性の高い特定の課題を解決するため、一時的に設置される組織のこと

脱炭素社会への取り組みについて

省エネに向けた取り組みを促すだけでなく、わたってしまつことではなく、地域がより主体的に「二酸化炭素排出量実質ゼロ」のために何ができるのか取り組みを聞く。燃やさないごみ処理のトンネルコンポスト方式や公共施設カーボンマネジメント強化事業を行ってきた。環境省の補助事業を活用し再生可能エネルギーの導入ポテンシャル調査や森林資源等の二酸化炭素吸収能力を調査し検討する。

交通手段の確保について

高齢の方が車を運転しないと生活できない環境が本市にある。この環境を改善し安全な移動手段の確保について、新たなモビリティサービスとまちづくりと連携した交通環境の整備について聞く。自動運転が解決の一つであるがまだ時間がかかる。この場所で生活するためには何が本当に必要なかを見極め、多極分散型のまちづくりとあわせて検討する。

QRコードを読み取ると各議員の質問の動画が視聴できます。
令和4年第1回定例会会議録は6月上旬に掲載予定
三豊市議会HP 会議録検索システム をクリック

市民会
新政
自新



城中文文
議員



人口減少について

三豊市誕生から、年平均656人の人口減少傾向について。

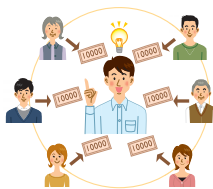
政策的に対処すべき社会減と平均寿命等による自然減とは分けて考える。

将来推計人口は、18年間で12,610人減少するという予測に対しての、将来に向けての対策について。

関係人口（地域と多様に関わる人々）の拡大を図る。市外の多様な人材にまちづくり等に参画してもらい、内側から本市の魅力体験し、発信してもらい、さらなる関係人口の拡大と定住人口の獲得を目指す。

人口減少が及ぼす財政面について。

ふるさと納税、企業版ふるさと納税、クラウドファンディング等の新たな歳入確保に努め、持続可能な財政運営に取り組む。



人口減少に伴う空き家の増加に対する今後の対応について。

5年間で8件の増と大幅な増ではない。空き家バンク等による利活用促進、老朽危険空き家の除却支援事業による補助事業制度を継続していく。

外国人増加についての対応について。



これまでの支援から、多文化共生施策に変更し、お互いが一緒に豊かに暮らせる三豊市を目指す。

耕作放棄地増加に伴うイノシシの増加による被害対策について。

個体群管理、柵設置等侵入防止策、放任果樹の伐採、生息環境管理、増やさない、立ち入れさせない、寄せ付けないの三本柱で行う。

公共施設について

人口減少が進む中、公共施設の1人当たり延床面積が県内で一番多い現状について。

公共施設の再配置に努める。

現存する公共施設の削減について。

将来的に、約半分に削減するという厳しい目標を掲げ、議会と共に取り組んでいる。人口減少加速が進む中での公共施設の存続について。

真に必要なとする施設数、機能等を把握し、更新費用、維持管理経費などを念頭に置いて運営管理を行う。

憲
立 (CDP)



三木秀樹
議員



フィンランドの「ネウボラ」を目指し、核家族の子育て支援拡充を進める「なないろ」の課題を聞く

連日報道される、我が子への虐待などを讀むたびに心が痛むと同時に核家族化の深化と繋がりがこまら悪化していると感じる。市の子育て世代包括支援センター「なないろ」は、第2ステージとして核家族の子育て、特に「父親・支援を重視しているが、その状況と課題を聞く。

市内で児童虐待相談件数は今年度100件、一時保護は22件。前年より7件増えている。虐待された子どもだけでなく、保護者への支援が重要と考えているが、本日に支援が必要なお父親、母親からSDGsが出ないのほなぜか「なないろ」として、お手本の無いまま子育てする時代に、保護者自身の子ども時代の苦しみを理解し、苦しみを和らげるケアと支援の両輪が機能しなければならぬ。

新たな取り組みとしては、父親支援としてこれまでの育児技術を習得するパパママ教室とは別に、「父親支援を目的とした集い」を数回行い、父親・母親が互いに気持ちを話し、聞く、譲り合う、合意点を見つけてといった一連の流れの必要性を学び、実践力を高める。また一人の子を育てるには、「一つの村が必要」ということわざがあるように、子育ての期間は長く、子育ては難しいものだから、親が悪い、親が変わらなければ「家庭の問題」にするのではなく、社会の問題と位置付け、地域で子育てを応援する「とも育て」が重要と考えている。親が変わる余地を生み出すには、子育ての科学的知識と周囲からの少しおせっかいな関わり無しでは難しい。「とも育て」への周知体制づくりが課題だ。

子育てに困っている方は「なないろ」に

「なないろ」の守備範囲は、妊娠届出から子育て期、義務教育終了から18歳まで切れ目なく包括的に支援する、広くて深いエリアだ。「なないろ」に関わる職員が大変な過重労働となつては困る。指摘のように「社会の問題」だと私も認識する。そのため予算も付けて、是非実施を。

「なないろ」の創設理念は「ネウボラ」が目標だ。市内の子どもが18歳になるまで市は寄り添う。子育てに関して予算の上限無しで行う。



▲困っている方、悩んでいる方は「なないろ」へ

その他の質問

○施政方針内の「誰も経験したことのない変革の時代」とは何を指しているのか。
○選挙管理委員会の重要な任務の形骸化について。
○人口減少下の「動態調査部署」の準備状況は。
○GIGAスクールでは自尊感情等の感情面が育成できない点（昨年6月議会）の関連を聞く。

公明党



込山文吉
議員



令和4年度施政方針より
新型コロナウイルス感染症対策について

子どもたちの安心・安全を守る切り札として、5歳から11歳児への新型コロナウイルス接種が実施される。小学生以下の幼児児童への接種については保護者の同意と同伴を求められる。どのような情報提供をし、啓蒙されるのかお聞きする。

令和4年2月21日に関係府省令が改正施行され、5歳から11歳までの小児へのワクチン接種が予防接種法上の特別臨時接種に位置付けられた。しかし、努力義務が課せられなかったことから、保護者および本人がワクチンを接種するかどうかを適切に判断できるよう、ワクチンの効果や副反応のリスク等を分かりやすく情報提供することが重要である。接種が強制でないことを配慮し、市民の皆さまに適切に情報提供し、希望される方が速やかに接種できるような体制を構築してまいりたい。

SDGs未来都市みとまについて

施政方針でウィズコロナとSDGsの取り組みを重ね合わせ、根本的な構造の改革等を訴えている。しかし一部の職員しかSDGsは浸透していないと感じる。職員全てがSDGsの17の目標から捉え直すことが必要と考える。

三豊市SDGs未来都市計画に基づき、さまざまな施策に取り組んできた。SD

少子化対策について

中学校等の生徒のスポーツに親しむ機会が確保されてきたが、現行の学校単位で活動し、指導は教員が担うという運動部活動の継続は困難であり、生徒がスポーツに親しむ機会が大きく減少してしまうことから、学校の運動部活動に代わり子どもが地域でスポーツに親しめる環境を、新たに構築していくことが求められる。三豊市の考えを聞く。

子どもたちにあらゆる選択肢を用意し、自分の可能性に果敢に挑戦できる機会を提供し、夢の実現に向け、専門の指導者の確保・育成等に努め、スポーツ環境の構築に向けた組織づくりを検討していく。文化・芸術系に関しても同様の考え方で取り組んでいく。



その他の質問

○新婚家庭支援、子育て支援・学習支援
○社会インフラ点検として市道等の生活環境点検・防災減災対策の点検・通信インフラ整備



田中達也
議員

情報の伝達について

問 施政方針に「情報の在り方を検討する」とあるが、どのようなものか。

答 現在はLINEで市政情報の一部のみを登録者全員に配信している。新年度、早い段階でのセグメント配信に向けて準備を行っている。



▲三豊市 LINE 公式アカウントの画面

投票率の低下について

問 市選挙の投票率は合併以降低下し続けている。低下の原因を想定した上で対策を講じるべき。選挙管理委員会の見解は。

答 今回の市議会議員選挙については、年代別地区別投票率を集計し、分析している。分析結果をオープンデータとして積極的に公開し、投票時の実態に触れることで関心を高めてもらうよう努める。

コロナ禍における学びの保障とデジタルシ
ティズンシップ教育、デジタルディバイド

解消について

問 貸与されている1人1台端末は、コロナ禍の学びの保障に有効に活用されているか。

答 道半ばではあるが、進められている。学校側が変わっていく必要性を強く感じている。これを必ず進めていきたい。

問 デジタルディバイドの解消についてどのような見解を持っているか。

答 情報機器を遠ざけるのではなく、活用する中で自ら判断できるようになることを目指す。デジタルシティズンシップ教育は重要。今後は生涯学習施設においてWiFi環境を整備し、インターネットを活用した講座を実施する中でデジタルディバイドの解消を目指していきたい。

Mitopay (ミトペイ) コミュニ

問 施政方針に示されている地域通貨を使うための取り組みについて、具体的な内容は。

答 地域ポイント機能を実装する。健康ポイントやボランティアポイントなどが考えられる。令和4年度については決済手数料を補給するなど、加盟店の獲得に努める。チャージ店舗の募集も行っている。

健康省エネ住宅の普及について

問 高齢者の健康を守るためには、住宅の断熱改修が必須。健康省エネ住宅の普及に取組んでもらいたい。いかがか。

答 市内事業者や居住者に対する情報提供を行い、住宅性能表示制度と整合した健康省エネ住宅の普及に取り組む。



丸戸研二
議員

人口減少対策

問 人口減少対策の一つとして空き家の利活用が必要と考えるが、市役所窓口が分散化している。窓口を統合してワンストップ化できないか。

答 行政サービス向上の観点から、一元化に向けて取り組む。

問 空き家リフォームサポート事業を見直すことが必要ではないか。

答 各種補助制度の在り方などについて多角的な視点から検討する。

小中学校の統廃合

問 昨年7月29日付けで行った「適正規模・適正配置に関する諮問」の答申は受けたのか。

答 現在答申は受けていないが、答申を尊重しつつ、再編整備基本計画を策定する。合併特例債が令和7年度に期限を迎える。施策のタイミングをどう考えるのか。

答 スピード感は絶対に必要だ。スケジューリング感を共有しながら進めたい。

宝山湖ポールパーク夢いっぱいプロジェクト

問 水資源機構から買い取る予定の土地の面積はどの程度か。

答 グラウンド、駐車場およびこれに隣接する土地の場合は約13ヘクタール、周辺森林を含めた場合の面積は約24ヘクタールである。

健康づくりの拠点としてどう活用するのか。

問 グラウンドや湖畔の遊歩道を利用したウォーキング、カマタマシ護岐が持つノウハウを市民に提供する拠点などの活用策を考えている。

答 年間の収支見直しは。

問 人件費や芝生管理費、光熱水費などで約4千万円、一方収入は約1千万円と見込んでおり、市の財政負担は約3千万円と見込んでいる。

みとよ市民病院の経営

問 常勤医師確保の見直しと必要な数は。

答 今後3人の常勤医師の増員が必要である。現在、大学病院への働きかけや香川県地域医療支援センターへの協力依頼を行っている。

独立採算経営についての見直し。

問 公立病院は地方公営企業法が適用され独立採算が原則である。なお、公立病院は地域への不採算医療を担う役割があり、国の基準に基づいた市の財政負担も必要である。

新病院について

問 新病院には北西部も南部もない。

答 市全域から信頼を得る必要がある。かかりつけ医と総合病院の中間的な位置付けで信頼を得ることが必要と考えている。



▲5月開院の「みとよ市民病院」



市川洋介
議員

新型コロナウイルスの今後の独自の施策

問 三豊市における新型コロナウイルスの現状、コロナ対策補助金、公共施設でのコロナ対策、市民に告知すべきコロナウイルスの状況と管理について

答 現在のオミクロン株による第6波の感染傾向では一番多い年代層は10歳代で22.3%、20歳以下は全体の46.1%でほぼ半数を占め、3月12日時点で1,034人である。新型コロナウイルス対策補助金は令和4年度で4億4,540万6千円が限度額である。公共施設における新型コロナウイルス対策は市役所本庁舎をはじめ、公共施設全般にさまざまな対策を講じていて、消毒やカウンターでのアクリル板の設置、非接触型の体温計、保育所、幼稚園等の施設にはウイルス除去の空気清浄機の設置をしている。コロナ関連の情報管理は、市としてできる限りの情報開示をしているが、感染者情報は基本的に県が持つていて、その中で教えていただけな情報には限りがあり、個人情報も含め難しい部分もあるが、できる限り情報開示を行い、反対に出してはいけないものは管理する。



文化・スポーツにおける三豊の今後の施策

問 市民の文化スポーツの活動の把握、三豊市の文化スポーツの将来像、文化スポーツ財団の創設について

答 三豊市文化芸術振興計画、スポーツ推進計画を策定したところであり、市民アンケート調査によると、文化活動および鑑賞機会の充実と情報発信を求める声も多く、体力づくりに重点を置いたスポーツ推進、年齢等にに応じたスポーツ教室、イベントの開催を取り組める機会を望んでいると捉えている。文化芸術活動は人々が豊かに生活していく上で欠くことができず、文化財は郷土の成り立ちと歩みを生み出し、文化財は郷土の成り立ちと歩みを生み出し、本物の文化芸術へ触れてもらう機会を増やして、スポーツを「する」、「見る」、「ささえる」環境づくりを世代や地域を超えた交流を促し、文化芸術、スポーツのコミュニティの活性化を目指してまいります。また、文化財は郷土の成り立ちと歩みを生み出し、本物の文化芸術へ触れてもらう機会を増やして、スポーツを「する」、「見る」、「ささえる」環境づくりを世代や地域を超えた交流を促し、文化芸術、スポーツのコミュニティの活性化を目指してまいります。また、文化財は郷土の成り立ちと歩みを生み出し、本物の文化芸術へ触れてもらう機会を増やして、スポーツを「する」、「見る」、「ささえる」環境づくりを世代や地域を超えた交流を促し、文化芸術、スポーツのコミュニティの活性化を目指してまいります。



※セグメント配信…受信者の属性や行動の段階を分類し、それぞれの受信者に適した情報を送信すること
 ※デジタルシティズンシップ…情報技術の利用における適切で責任ある行動規範
 ※デジタルディバイド…情報通信技術を利用して恩恵を受けられる人と、利用できずに恩恵を受けられない人との間に生ずる格差



3月定例会では、3月14日、15日の2日間、9人の議員が一般質問を行いました。質問順に要旨を掲載します。原稿は質問者本人が書いています。

人口減少対策について



為広員史 議員



三豊市第2次総合計画の中で市長は63,500人プラスの人口を確保したいと答えておられる。戻りたい街第3位、また本年度の成人の9割近い人が、将来三豊市で住みたいと答えている。この希望を叶えることが人口減少の歯止めになると思うが、いかがか。

各施策の成果として地域の魅力がたくさんの方に伝わり、愛着やシビックプライドの熟成につながっている実感している。今後ともやりがいや生活に豊かさをもたらす産業を創り、健康で安心して暮らせるためのサポートを充実させていく。

小中学校の給食費の無償化について

給食費を無償化し、子育て世帯の負担を軽減できないか。

給食費の無償化は子育て支援策として有効な手段だと認識しているが、財政面から今はできない。

出来ないことを羅列するのではなく、どうすれば出来るか考えられないか。

18歳までの医療費無償化について

18歳までの医療費無償化について聞く。

子どもへの教育や医療は地域によって差が出ることなく、特に当市は隣の観音寺市と密接に関わり、医療圏も医師会も同じ状況である。十分協議していくとともに、近隣他市町の動向も注視し、連携しながら検討していく。

永康病院の全建設費・設備費と今後の運営方針について

永康病院の全建設費・設備費と今後の運営方針について聞く。

消費税別金額で58億3,200万円である。最新医療機器の導入や病室のオール個室化など、施設整備の面の強みを生かし、入院・外来患者の増加を図り大幅な医療収益の増により、安定した健全経営を目指す。



▲三豊市立みとよ市民病院

市役所職員の女性登用について



高木 修 議員



帝国データバンクの令和2年の調査によると、有効回答企業約1万1,700社の女性管理職比率は、7.8%であった。

三豊市役所の場合、実態はどうかの、答用の考え方と過去3年の実績を聞く。



▲期待どおり、女性登用が進むか

三豊市人材育成基本方針に沿った考え方で、管理職として社会情勢や行政需要に対応し、市民の信頼と期待に応えられる職員を登用するというものである。

法律を受け、三豊市特定事業主行動計画を策定しており、女性管理職の割合目標を20%としている。



瀧本哲史 議員



三豊市教員の負担軽減対応策について

近年、教員の志願者が減少傾向にある。三豊市教員の過重労働に対する負担軽減対応策について伺う。

勤怠管理システムにより、勤務時間を客観的に把握するとともに、ストレスチェック等を実施し、教員のメンタルヘルス不調の未然防止に努めている。必要に応じて医師との面談を受けられるような体制も整えている。統合型の校務支援システムの導入活用により、校務における業務負担を軽減し、情報の一元管理および共有できるようにしていく。

の導入による弊害を訴える者がいるが、その点についての認識を伺う。

本市の校務支援システムについて、三豊市の行政専用のセキュリティ環境を利用していることから、他の自治体と比べ高水準となっている。そのため、データを出し入れする際のUSBメモリ等の使用にあたっては、管理職の承認手続きが必要である。

セキュリティ基準を上げる

セキュリティ基準を上げる。ほぼ、業務スピードやスムーズさに支障が出る。バランスが大事である。セキュリティ面ばかりを注視していると、現場ではただひたすら業務が増えていく、どんどん積み増していく状態になる。校務支援システムを取り扱ったのは、市の総務課だと聞いている。学校現場と離れた人間が決定権者になった場合、運用にあたり現場の様子をフィードバックして改善していく仕組みが必要である。なぜ三豊市は市と校務システムを同じサーバーで運用しているのか。

セキュリティ、情報共有、コストの観点からである。



水本真奈美 議員



がん対策について

コロナ禍におけるがん検診の状況と受診率向上の取り組みについて伺う。

令和2年度は検診の中止や延期、受診控えで受診率が低迷したが、令和3年度は完全予約制で集団検診および個別医療機関での受診体制とし、肺がん検診51.8%、胃がん検診も41.9%と増加の状況に回復した。さらに広報、防災行政無線、ハガキ等の受診勧奨、女性のがん等の出前講座にも取り組んでいる。

がん治療等で外見上の変化をケアするアピランスケア医療用具（医療用ウィップ・乳房補正具等）の購入助成について伺う。

アピランスケアは単に変化前の外見に戻すだけでなく患者と社会をつなぐ重要な支援と考える。県の新規事業の上乗せ等、県内でも広がることも予想され、財源的なことも含め今後検討する。

- 在宅ターミナルケア支援事業
- がん教育

過去3年間の経緯は、令和元年13.7%、令和2年18.9%、令和3年20.7%である。

建設工事における「原材料支給制度」の予算について

建設工事における、原材料支給制度の予算について尋ねる。この制度は、身近な建設工事補助制度となっており定着している。

しかし、ここ2年間にわたり、年度半ばで予算が枯渇してしまい、工事が翌年度としてとなるケースもあった。執行部としてどのような改善策を考えているのか。

令和元年10月から、より利用しやすい制度へとの改善要望に応え、それまでの、1カ所当たり原材料20万円、機械借上料10万円から、現在の原材料30万円、機械借上料15万円に改定した。このような経緯により、市民からの要望件数や要望内容が増大し、早い段階で予算枠が埋まっている状態になった。

事業の進め方をはじめ、建設工事関係事業全体の中で、改善策を考えなければ、と認識している。

その他の質問

○先の市議会議員選挙における投票率の評価について

ひとり親の貧困対策について

経済的基盤が弱いひとり親家庭にとって養育費確保は重要である。

女性活躍・男女共同参画重点方針2021において養育費不払い解消の取り組みが掲げられた。本市の考えを伺う。

令和4年2月現在で養育費を受給しているひとり親世帯は57世帯中135世帯で23.4%である。国の離婚前後親支援モデル事業について養育費の履行確保に資する取り組みも拡充された。先進自治体を参考に国の事業の活用も含め検討する。



障がい者が社会参加しやすいまちづくりについて

障害者手帳アプリ（ミフィロID）の導入、活用を考えたい。

将来のデジタル化時代に対応していくため、また、障がい者の外出を手助けする手段として、障がい者割引のある市有施設での導入を早期に検討する。

*アピランスケア…外見の変化を補完し、外見の変化に起因するがん患者の苦痛を軽減するケア
*在宅ターミナルケア…患者の住み慣れた自宅で、死を前にした患者とその家族に、出来る範囲で「よりよく生きること」に手を貸すこと



コロナ感染予防対策について

今、コロナ感染減少とした取り組みで、議場・各委員会室・各所管の職場等の現状と、今後感染予防に対する対策を広く範囲に何う...

今、市でこれまで1,100人を超えているが、その症状を伺う。



子育て環境の充実のために

子育て環境の充実を進める上で、子育て世代の気持ちや意見をしっかりと聞き取る必要がある。

今後、直接顔を合わせられる場面も検討し、子育て世代の方々が今思っていること、こつこつほしいことなどの率直な意見を拝聴し、子育てに関するコミュニケーションが図れるよう努める。

意見交換会をして市長や副市長、教育長などにも参加していただきたい。

子どもの貧困 対策について

過去の質問で実態調査をしていただき対象者が判明したので早急な対応をお願いしたがその後の対応は、

緊急性が高い児童生徒には関係機関が相互に情報交換を取り合っている。今後その結果に基づき、必要に応じて追加調査をしたり、関係各課と速やかに情報共有を行い対策する。

健康でいられるまちづくりについて 過去に提案した「歩けるまちづくり」など普段から運動で

は、市として把握できないのが現状で、市内に一定数は、存在されていると推察する。議員ご指摘のとおり、コロナ感染による後遺症に苦しんでおられる方々、罹患後の症状に苦しむ方々、生活が困難されている方々への支援は、行政として市民の健康、生活を守る観点から非常に大事なことであると考え、早急に取り組みしたい。

新三豊市立病院事業の地中障害物撤去に伴う監理費の軽減について

令和3年12月の一般質問で地中障害物撤去費に対する答弁で、施工業者、設計監理者、CMに監理費の減額に対し、三豊市政の対応と市長から各業者に減額に対する今後の取り組みとした答弁を伺う。

前回12月の一般質問で指摘いただいた後、質問の趣旨を踏まえ、各業者に対し、減額処置を示す段階になっていない。具体的な成果はなかった。これまでの対応が十分であったことについては大いに反省している。申し訳ない。今後3月25日までに減額に向けて話し合いを行うので、私なりに責任を持ってきちんとこの問題に取り組みしていきたい。



新型コロナウイルス感染者への援助について

コロナに感染した場合、感染者はもとより、家族の悩みは大い。また、葬祭費も高額となっている。三豊市としてこのような問題にどのように対処するのか伺う。

三豊市の祭りやイベントに対する対応について

以前、毎年3%の予算削減は「祭り」が維持できない。財政難



▲多くの人でにぎわう「たくま港まつり」続けられるのか



市長の施政方針について

農業を魅力ある産業にするために、農業環境を整える農地の条件整備、基盤整備事業を聞く。

近年になるほど、農地の荒廃化するスピードが増しており、耕作放棄地は、依然として増加傾向にある。傾斜地ほど再生利用が困難になりつつある。荒廃農地等利活用促進事業を利用して再生している。耕作放棄地が増えると病害虫、有害鳥獣などで農業を続けるのが困難になる。国や県にも要望し、初めは小



▲増えゆく荒廃農地

なら三豊の祭りを作り一本化するべきではないか」などの意見があり、その結果一律の削減はしない。個別の祭りについてそれぞれ対応する」としていたが、現在一律3%削減が復活している。根拠とその理由を知りたい。

祭りの実施については市からは委員以上に寄り添いながら祭りを支援していきたい。

職員の採用辞退や早期退職の対策について

職員の採用辞退や、早期退職者が相当数いるし、精神的病気になる職員も増えていくと聞く。その対応は難しく、三豊市だけの問題ではないと思うが、どのように分析しているのか。財政不足のため、若い職員が将来の賃金に不安を感じているのではないかと、予算の3%カットではなく、事務量の3%カットを提案してはどうか伺う。

他の公務員試験の併願が可能であり、本市の受験者も、複数の自治体を受験していると考えられる。最終合格者の辞退者は市外居住者が多く、他の自治体等を選択されたものと分析している。財源に見合った業務量にすることが一つは、全庁的に統一された方針に基づいて施策の方向性や事業内容の精査を行うことが重要であると考えている。

規模な動きからでも耕作放棄地の軽減に取り組む。地域と一体となって農地や農道、水路整備していく。

地域プロジェクトマネージャーについて、実態のない形ばかりの施策でないのか。

業務は、薬用作物の産地化に向けた栽培支援。面積の拡大、リーダーの育成や活動拠点の整備などを進めていく。

薬用作物、職員を動員して栽培を拡げている、費用対効果は。国の制度を活用しながら進めているところであるが、今のところ算出する資料が集まっていない。

学校現場の実態と改善について 学校教育の質の向上には現場の確保が重要。教育環境が子どもたちの成長の方へ向いた学校現場になるよう、どのような具体策を考えているのか。

スクールサポートスタッフなど人的資源の充実など、業務改善の推進と地域との連携協力を進める。信頼される自立した学校運営に向けて、学校の裁量拡大、学校運営協議会、コミュニティスクールの導入を完了した。教育委員会は、学校も地域も活性化できるよう、常にバックアップしていく。

※ CM...コンストラクション・マネジメントの略で、建築主の立場に立って、建築工事のコストダウンや品質改良に取り組むサービス



若田秀樹 議員



コロナ感染症対策の無料PCR検査、抗原検査の取り組みについて

問 オミクロン株は、これまでのデルタ株などに比べて感染力が高く、短期に広がった。ピークアウトの後、減少に転じると思われていたが、高止まりの傾向が続いている。

答 感染を早期に発見し、拡大を防ぐためには、感染が疑われる人に対する検査を迅速に行うことが必要である。県は新年度予算案として、知事の要請に基づくものは、無料のPCR検査としているが、市の取り組みはどうか。

答 昨年来、県内市町では唯一無二の定量抗原検査を実施している。唾液検査および永康病院の直接検査、合計3,241件のうち最終陽性者は1人であった。

この無料の定量抗原検査の実施について、新年度予算に盛り込んでいないが、次年度早期にも予算措置の上、継続して実施し、当面は現行の検査体制を堅持したい。

35人以下の少人数学級実現と教科担任制の実施について

問 全国的に公立学校の教師不足が報道されており、県下でも2021年度小学校4校、中学校1校、高校1校で教員が定数どおりに配置されなかった。このような中で教科担任制を小学校で実施することだが、教員不足は生じないのか。

答 来年度からは義務教育全学年で35人以下学級が実施される。文科省によると、専科指導の対象とすべき教科について、外国語、理科、音楽など6教科を挙げている。人材確保の観点から、2教科程度から徐々に拡充されるものと考えられる。

教科担任制は、国が4年かけて段階的に推進していく考えで、県の加配等を活用しながら取り組みを進めたい。



▲小学校の授業風景

委員会審査

3月定例会では、各委員会に議案が付託され、その審査の経過や結果が、本会議で報告されました。委員会での審査内容を掲載します。

総務常任委員会

3月7日開催の総務常任委員会には、12議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和3年度一般会計補正予算(第9号)の中の関係部分

問 定住促進に関する家賃等補助金が減額補正であるのはコロナ禍の影響か。

答 申請件数は、消費税増税による減少も考えられるが、令和2年度以降は減少していることから、コロナ禍の影響も考えられる。

問 RVパークの整備予定3カ所について、利用者数や整備内容の分析はされているのか。

答 全国的にキャンピングカーの売上げが伸び、RVパークの利用者は増加している。今後は、一層利用者が増えると想定し、宿泊という観点からもRVパークを整備し市内誘客を図っていく。



▲RVパーク

問 機能別団員は、定数を超えない範囲での任命となるのか。

答 定数1,091人の範囲内となる。平日の出動体制が取れない団員がいる場合など各分団の実情に応じて機能別団員の確保について周知する。

問 機能別団員はOB団員のみを想定か。

答 初期消火では消防団経験者等が理想的と考え、消防団OBを想定している。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

教育民生常任委員会

3月8日開催の教育民生常任委員会には、11議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和3年度一般会計補正予算(第9号)の中の関係部分

問 緊急通報装置について、事業者に委託できたことによる減額補正とのことであるが、市は一切負担しなくなくなったのか。

答 旧町から使用している緊急通報装置を買い替えるため、当初110台分予算を計上していたが、事業者が持っている機械を使用できるようになり、更新費用が不要となった。

三豊市奨学金貸付条例の一部改正について

問 所得制限について、例えば父親と母親の所得は合算するのか、また家族内に「おじ」や「おば」もいる場合、その所得も合算するのか。

答 所得の範囲については、同一世帯内すべての方の所得を合算して判断する。

市民建設常任委員会

3月9日開催の市民建設常任委員会には、5議案が付託され審査した。

主な質疑と答弁

令和3年度一般会計補正予算(第9号)の中の関係部分

問 タブレットを活用した死亡届後の手続きとコンビニ交付業務に係る備品購入費の増額補正について、今回の補正は、当初から計画していたものか、それとも国の交付金を活用するということとを目的とした取り組みか。

答 死亡届後のタブレットの活用についてはこれまで実証実験を行っていた。コンビニ交付用の端末の導入についても、以前から導入に向けて財政担当と協議をしながら検討を続けていたものである。

問 公害測定調査は何カ所で行っているのか。

答 河川やため池で23カ所、海域において5カ所、それにダイオキシン等の調査を2カ所で行っている。

問 市民税の増額補正について、前年度並みの税収が見込まれるのは、国等が行ったコロナ対策支援金の効果によるものか。

答 給与所得では一部コロナの影響による減少がみられるが、事業所得においては、国等からの支援により、前年度とほぼ変わらない状況となった。

問 なぜ、農業振興費の県費補助事業が減額となったのか。

答 事業完了に伴う精算によるが、市と県との予算編成スケジュールが違つことにより、県の予算枠や事業内容の変更に伴う事業の振り分けによるものである。

問 農業の収入保険の保険料補助に係る増額補正について、執行するに当たって想定される問題点はないのか。

答 今年度は、コロナ対策交付金を活用したが、来年度の加入者については、対象となっていない。加入促進のためにも、今後の検討課題である。

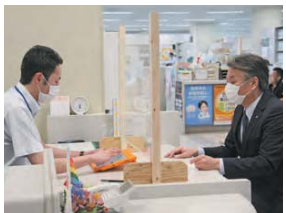
以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。

三豊市緑ヶ丘総合運動公園条例の一部改正について

問 使用料について、市外の団体・個人については、市内の倍額にするそうだが市内、市外はどのように判断するのか。

答 市内、市外の判断については、団体は団体の登録申請の場所を判断し、個人は、申請者の現住所を判断する。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案どおり可決した。



▲市民課窓口でタブレット端末を使った手続きの実証実験の様子



▲三豊市総合体育館

予算特別委員会審査

3月2日・16日、17日、18日、22日、24日と予算特別委員会を開催し、令和4年度一般会計予算など、計11議案の審査を行いました。

主な質疑と答弁

政策部関係

問 総合政策アドバイザーの報酬金が前年度より減額されている。その根拠は何か。

答 新型コロナウイルスの関係から直接アドバイザーをいたたく機会が減少した。令和4年度は、オンラインを利用してアドバイザーを受けかたで予算計上をした。工業用水対策事業の操業支援助成金が870万円余り、報償費が200万円余りとなっている。どのような使い方をしているか。また、第4期実施計画に令和5年、6年、7年と大きな事業費を見積もっているが、どう関連しているか。

答 専門職員を常駐させるため会計年度任用職員に関係する予算を計上している。また、第4期実施計画については、高瀬川水系の揚水検査を踏まえ、どのように企業会計として成立させるのかについてコミュニケーションしている。

教育委員会関係

問 夜間中学について、何らかの理由で中学校教育が受けられなかった方、外国人労働者、人数の割合はどうなっているのか。具体的にどういう授業を行い、教員は何人で当たるのか。

答 学齢期を過ぎて中学校を卒業していない方、卒業していても不登校などの理由で十分に学べなかった方、外国籍の方で本国で義務教育を終えていない方などを対象としている。授業内容については、中学校の9教科を学ぶものである。教員の配置については、県費の職員が配置される予定であるが、詳細な人数については今後示される。



▲夜間中学が設置される高瀬中学校

問 給付型奨学金について、申請の段階で所得要件などで門前払いされることはないのか。

答 市職員で判断することは一切ない。全て選考委員会にかけることとしている。

健康福祉部関係

問 放課後児童クラブ運営事業、市直営の場合において子どもたちの環境が悪い。緩和対策は講じているのか。

答 学校の教室利用で専用となると難しいが、安心安全な学童現場の整備に努めている。

農政部関係

問 これまで地域おこし協力隊については、薬用作物に特化して活動していたが、今後の立ち位置はどうなるのか。令和4年度予定している地域プロジェクトマネージャーはどういう業務を行うのか。

答 地域おこし協力隊については、三豊市の農畜産物の販売促進や農水産物のプロモーションを行うこととしており、地域プロジェクトマネージャーについては、引き続き薬用作物の栽培・販売関係などに従事する

こととしている。

問 土木費が前年度に比べて27億円から24億円に減額されているが、その理由は何か。

答 6月の肉付け予算の時点で必要予算は要求することとしている。

建設部関係

問 まちづくり推進隊については、前年度並みの8,578万4千円が組まれているが、詫間、仁尾、財田については過疎債が財源とされている。過疎債は、過疎地域の自立促進、雇用の増大、地域格差の是正などに取り組むことが条件であり、財源を組み替えるだけの過疎債充当は趣旨に反するのではないか。

答 過疎債は、三豊市過疎地域持続的発展計画の中に計画された事業に充当することとしており、まちづくり活動推進事業として位置付けられていることから、過疎債の対象事業となる。

以上、各議案とも慎重な審査により、原案とおり可決した。

各委員会の閉会中継続調査

こんな課題に取り組みます!

各常任委員会で、閉会中も継続的に調査研究する必要があるもののテーマが決まりました。現状把握をし、問題点を明らかにし、委員間で理解を深めながら、調査結果を施策に反映させていきます。



総務常任委員会

- 定住促進について
- OSDGsについて
- 防災について



総務

教育民生

教育民生常任委員会

- 学校再編について
- GIGAスクール構想の推進について
- 子育て世代包括支援センターの充実について



市民建設

市民建設常任委員会

- 環境対策について
- 農業振興について



三豊市議会報告会

令和4年度の主要事業等について議会の審査結果を報告するとともに、市民の皆さまから議会や市政に関するご意見をお伺いします。

市内3会場とオンライン(Zoom)で議会報告会を開催します!



開催日程

開催場所	日時	出席議員
オンライン(Zoom)*1	5月18日(水) 19:00~	岩田 秀樹 西山 彰人 高木 修 近藤 武 田中 達也 湯口 新
山本庁舎 2階 大会議室	5月19日(木) 19:00~	為広 員史 三宅 静雄 金子 辰男 丸戸 研二 三谷 正史
マリンウェーブ イベントホール	5月21日(土) 19:00~	三木 秀樹 城中 利文 川北 善伴 西山 彰人 水本真奈美
みとよ未来創造館 3階 大ホール	5月24日(火) 19:00~	横山 強 詫間 政司 込山 文吉 市川 洋介 高木 修 瀧本 哲史

*1 オンライン (Zoom) 開催については、前日までに市議会ホームページ(右のQRコード)から、お申し込みください。

- ◆ 新型コロナウイルス感染症の状況によっては、開催を見合わせる場合があります。最新の情報は市議会ホームページをご覧ください。
- ◆ 当日ご来場の際は、マスクの着用をお願いします。
- ◆ 正副議長は、すべての日程に参加します。

三豊市議会



議会報告会へのアクセスはこちら